

THE LEGACY OF DUO

Viola and Violoncello

Viola

百武由紀

Violoncello

苅田雅治

Piano/ 百武恵子

10/3 2024
[木]

18:30 開場 19:00 開演

ムジカーザ

MUSICASA

東京都渋谷区西原 3-33-1

全席自由

一般：3,000 円

学生：1,500 円

Program

ロッラ

ヴィオラとチェロの為の二重奏 F-dur

バルトーク

ヴィオラとチェロの為の 21 の二重奏より

西村朗

ヴィオラのためのアマリタ(不死の靈感)

レベッカ・クラーク

ララバイ、グロテスク

一柳慧

チェロとピアノの為のインターリレーション

ピストン

ヴィオラとチェロの為の二重奏

シュル

二つのハシデック・ダンス



THE LEGACY OF DUO *Viola and Violoncello*



百武 由紀 Yuki Hyakutake — ヴィオラ viola —

東京藝術大学卒業。同大学院修了。浅妻文樹、W・プリムローズ、S・コロ各氏に師事。1999年まで東京都交響楽団に在籍し首席奏者を務める。ニューヨーク・カーネギーホールにて邦人作品演奏。シノポリ・ワールドフィル日本代表。パリ日本文化館オープニング、ゲストアーティスト。カール・ライスター、ウルリッヒ・コッホ氏等、外来演奏家と多数共演。国内外の音楽祭多数出演。ソリストとして東京都交響楽団、広島交響楽団、セントラル愛知、アカデミカ・アンサンブル、東京ゾリステン、ビルトーズ横浜等と協演。現代曲の初演も多数手掛ける。1999年、日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して、審査員特別賞受賞。2002年芸術祭参加リサイタル「20世紀フランス・ヴィオラ作品の音脈をたどって」を開催し、高評を博す。弦楽四重奏団「クアトロ・ピアチェーレ」において、2010年第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。「東京シンフォニエッタ」メンバー。2010年第10回佐治敬三賞受賞。室内楽、ソロ、オーケストラと幅広く活躍。『どのようなアンサンブルにあっても、常に音楽を活性化出来る類い稀なヴィオラ奏者』との評価を得る。現在、愛知県立芸術大学名誉教授、東京音楽大学特任教授、名古屋音楽大学客員教授。

菊田 雅治 Masaharu Kanda — チェロ violoncello —

桐朋学園大学で井上頼豊に師事。1973年、第42回日本音楽コンクール・チェロ部門第一位。1982年から1990年まで東京都交響楽団の首席チェロ奏者を務めた。

1982年より小林健次率いるニューアーツ弦楽四重奏団に参加、飛騨古川音楽大賞奨励賞、文化庁芸術祭賞、中島健蔵音楽賞を受賞。「クアトロ・ピアチェーレ」におけるショスタコーヴィッチ弦楽四重奏曲全曲演奏などにより、2010年第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。個人としても現代音楽の優れた演奏が評価され、1992年第11回中島健蔵音楽賞受賞。作曲家の信頼は厚く、国内の主要な現代音楽祭に常時出演するほか、室内楽、放送などの分野で欠かすことのできない演奏家の一人である。独奏者としての評価も高く、演奏は円熟の域に達している。

現在、東京音楽大学客員教授、桐朋学園大学非常勤講師。



百武 恵子 Keiko Hyakutake — ピアノ piano — 東京音楽大学、大学院を経て、パリ国立高等音楽院にて伴奏科、室内楽科を一等賞を得て修了。2007年文化庁海外派遣芸術家海外研修員。フランス国際コンクール室内楽部門第一位。在学中よりロンティボー国際コンクール、カザルス音楽祭、などに公式伴奏者として参加。弦楽器クラス伴奏者を度々兼任し、パリ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団などのメンバーと共演。09年に帰国。10年文化庁国際交流基金の支援のもとアルジェリアにてリサイタルを行う。ピアノを三浦捷子、川上昌裕、伴奏法と室内楽をJ.ケルネル、山洞智、C.イバルディの各氏に師事。東京音楽大学非常勤講師（伴奏、室内楽）。



 MUSICASA

東京都渋谷区西原 3-33-1

小田急線・東京メトロ千代田線
[代々木上原駅]東口より徒歩 2分

お問合せ先: yukigule0321@gmail.com